



訪問しました!

こうべ男女いきいき事業所

株式会社ユーシステム

今回は、平成22年度の「こうべ男女いきいき事業所」のひとつに表彰された株式会社ユーシステムを訪ねました。システム開発やWEB制作を事業の柱とするIT企業です。一人ひとりの社員がやりがいを持って長く勤められるよう、柔軟で多様な働き方を提供しています。

代表取締役 佐伯里香さん
WEBソリューション部 今道周子さん



佐伯里香さん(左)と今道周子さん(右)

小さな企業は、人材が命

従業員23名。三宮からほど近いビルの一角にオフィスを構える株式会社ユーシステムは、平成14年設立の若い企業です。

創業時から社長を務める佐伯里香さんは、スピードと変化の早いIT業界で順調に業績を上げる一方、だれもが働きやすい職場環境づくりと制度の充実に力を入れています。

「こうすればもっと働きやすくなるはず、と思ったことを形にしてくださいなんです」と佐伯さん。フレックスタイム制度や在宅勤務制度をはじめ、育児のための所定外労働の免除、子どもが小学校に入学するまでの短時間勤務制度、介護休暇制度、有給休暇の積立制度など、仕事と家庭を両立するための支援策を次々導入してきました。

その背景には佐伯さん自身の働き方が大きく関わっています。結婚後、勤めていた大手製造業系のシステム会社で企業の情報化支援に取り組んでいたところ、夫が転勤。一旦は退職を決心しましたが、勤め先から請われて在宅勤務に取り組むことに。自宅で仕事をして、月に2回出社するという働き方を11年間続けました。ユーシステムを設立することになり、社長に就任した後は岡山から神戸への新幹線通勤も経験。こうした体験を通して、一人ひとりに合った働き方を工夫すれば結婚や出産で退職する必要はないということを実感したそうです。

「小さな企業にとって、優れた技術や経験を持つ社員が一番大事な財産。人材は命なんです」とこやかに話してくれました。

一歩進んだ両立支援でCSとESを

こうした同社の制度を活用して、現在、育児と在宅勤務を両立させているのがWEBソリューション部に所属する今道周子さんです。結婚後、夫の転勤で関東へ。佐伯さんの勧めで、8時40分の始業時間に合わせて自宅のパソコンで仕事を始めるフルタイムでの在宅勤務をスタートさせました。

「最初は不安もありましたが、自分の仕事に集中できるという意味ではオフィスにいるよりも効率が良いぐらいです」と話す今道さんは、出産・育児休業後も短時間での在宅勤務に切り替えて仕事を続けています。

「子どもが昼寝をしている間や夜眠った後が私の仕事の時間。育児も仕事もバランス良く楽しんでいきます」とにっこり。子育てが一段落したら、仕事に費やす時間を再び増やす予定です。

「ずっと働き続けたいと思う一方で、子どもが小さいうちは自分で面倒をみたいという気持ちもあったので、今の働き方は理想的です」と今道さん。同社の両立支援のモデルケースともいえそうです。

「目指しているのは、『顧客満足=CS』と『従業員満足=ES』のバランスが取れた会社。社員みんなが幸せになれる会社にしていくことが私の役目だと思っています」と佐伯さん。結婚や育児のほか、足にケガをした社員が在宅勤務をしたことも。各種制度の充実はあくまで基本。佐伯さん率いるユーシステムは、一人ひとりの事情や状況に合わせた柔軟で多様な働き方をきめ細やかに提供しています。